

厚木市より

5,400円の助成
があります！

厚木市在住の今年度40、45、50、55歳になる方には、約5,400円の助成ができるため、少ない費用で成人眼科健康診査を受けられます。

検査費用 約7,700円
- 助成金 約5,400円
自己負担金 2,300円

※市民税非課税世帯で費用免除証明書の交付を受けた方や生活保護利用世帯の方は自己負担が免除されます。

眼科健診は助成がない場合、かなり高価な検査です。ぜひこの機会に受診しましょう。

健診対象者

40歳 (昭和55年4月2日～昭和56年4月1日生)
45歳 (昭和50年4月2日～昭和51年4月1日生)
50歳 (昭和45年4月2日～昭和46年4月1日生)
55歳 (昭和40年4月2日～昭和41年4月1日生)

今年度の受診期限は

令和3年2月15日

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。
お早めにご予約・ご受診ください。

厚木市成人眼科健診の流れ

- ①健康づくり課窓口もしくは電話 (☎046-225-2201) で申込。
- ②申込後、1週間～10日程度で受診券が郵送されます。
- ③実施医療機関を受診

受診曜日や時間帯などについての詳細は各医療機関にお問合せください。受診当日は、市から送付された受診券をお持ちの上、受診費用を支払って受診してください。

実施医療機関一覧

オバネ眼科	旭町1-26-2	☎228-9227
三宅眼科医院	栄町1-13-20	☎221-3738
石橋眼科	中町2-2-1 7階	☎230-7123
厚木いいだ眼科	中町3-12-16 1階	☎206-5355
眼科松倉クリニック	中町4-4-13 1階	☎210-1181
ながお眼科	愛甲1-4-3	☎248-6778
厚木三田眼科	三田517-2	☎404-3210
米澤外科内科	飯山172	☎242-1111
林眼科クリニック	林4-1-10	☎225-6820
ユノクリニック	愛川町中津818-1	☎284-2111

大切な目を守るために

緑内障は、日本を含め諸外国でも失明原因の上位に位置します。自分自身で目を守るという自覚を持ち、定期的に健診を受けることが大切です。対象の方は、忘れずに受診するようにしましょう。

大切なもの
見えていますか？



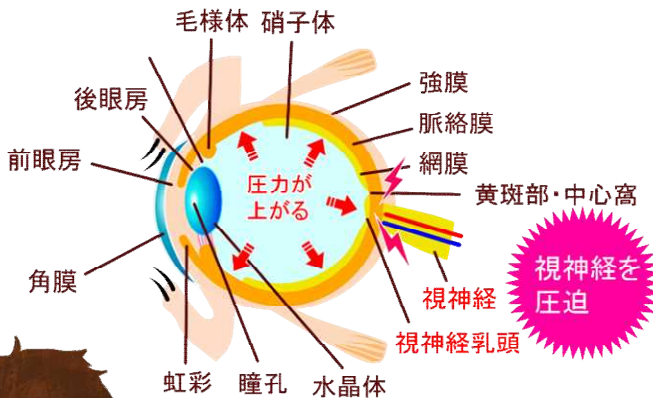
日本人の40歳以上の
20人に1人が緑内障です

厚木市 市民健康部 健康づくり課

〒243-0018 厚木市中町1-4-1 保健福祉センター2階
電話 046-225-2201 FAX 046-223-7066

✉ 2300@city.atsugi.kanagawa.jp

緑内障は視覚障害の
原因**第1位**の病気です。^{※1}
40歳以上の日本人の20人に1人が
緑内障と言われています。^{※2}



緑内障は、何らかの原因で視神経が障害され視野（見える範囲）が狭くなる病気で**眼圧の上昇**がその病因の一つと言われています。

コラム❖ 視力と視野の違いとは？

視力…自分から離れた物体を見分けられること。矯正（眼鏡、コンタクトレンズ等）しても、一定レベルまで視力の回復が期待できない場合を「視力障害」という。

視野…静止したままでも広い範囲を見れること。全体的に見える範囲が狭くなったり、部分的に見えないところがあるなど視野が欠ける状態を「視野異常」という。

※1 白神史雄：厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究 平成28年度 総括・分担研究報告書：32, 2017より
※2 lwase, A. et al.:Ophthalmology 111(9)：1641,2004

本人が気がついた時には**進行**している？

緑内障はじわじわと見えない部分が広がっていく病気です。片方の目に見えない部分があっても、両目で見ているともう片方の目でカバーしてしまうため、見えない部分がかなり広がるまで気づかないことが多い、こわい病気なのです。そのため、視力が良いからといって安心してはいけません。

視野が欠けるイメージ（右目で表示しています）



初期

目の中心をやや外れたところに暗点（見えない点）ができます。自分自身で異常に気づくことはありません。



中期

暗点が拡大し、視野の欠損（見えない範囲）が広がり始めます。しかし、この段階でも片方の目によって補われるため、異常に気づかないことが多いです。



後期

視野（見える範囲）はさらに狭くなり視力も悪くなって、日常生活にも支障を来すようになります。さらに放置すると失明に至ります。



眼科健診はこんな検査です。
どれも、痛みを伴わない簡単な検査です。

眼圧検査

直接、目の表面に測定器具をあてて測定する方法と目の表面に空気をあてて測定する方法があります。緑内障管理のための重要な検査です。

眼底検査

視神経の状態をみるために視神経乳頭部を観察します。視神経が障害されている場合、陥凹（へこみ）の形が正常に比べて変形し大きくなります。緑内障発見のために必須の検査です。

その他の検査

視力検査や細隙灯検査など

緑内障の治療



緑内障の治療は病気の進行をくい止めるため、眼圧を低くコントロールすることが最も有効とされています。治療法としては主に薬物療法が一般的です。その他、レーザー治療や手術もあります。

早期発見・早期治療

多くの場合、自覚症状がない緑内障に対して、最も重要なことは早期発見・早期治療です。一度障害された視神経をもとにもどす方法はなく、病気の進行を食い止めることが目標になります。したがって出来るだけ早期に緑内障を発見し、治療を開始することが大切です。

